



豊中市東丘公民分館
公民館だより

編集発行
東丘公民分館
広報委員会

新しい年を
皆さんとともに

東丘公民分館長
植木克己

東町の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素は東丘公民分館の諸行事に対しまして、格別の御理解、御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、皆様の御要望のありました、小学校の空教室を金山校長先生の御理解と御協力により分館活動の場として使用できることになりました。春秋講座、家庭教育学級及び各サークル等、皆様に御利用していただく事が出来ました。これからも有意義におつかいだきたいと思えます。また、体育祭、文化祭、ソフトボール大会等、諸行事が終了出来ました事は、皆様の御協力のおかげです。有難うございました。

出会うよろこび、学ぶたのしさ——公民館は、あなたのものです。

一、公民館は、人権尊重の精神を基底にします。

二、公民館は、生涯学習を实践する学び舎です。

三、公民館は、住民自治の向上をめざします。

先輩諸氏が築いて下さった伝統と、東丘の皆様の御要望にあった社会教育及び、一人ひとりがお互いの立場を理解し

合って少しでも和やかな輪が広がる分館活動となります様に頑張る決意でございますので今後諸活動に御支援、御協力を賜ります事を心からお願い申し上げます。

初春によせて

運営委員長
今井 澄真子

あけましておめでとうございます。

日ごろの多忙さからぬけ出して、心のゆとりを取り戻せる日、それはお正月です。もともと、今日は昨日のつづきとすれば、大晦日から元旦というものに、それほどの差はないわけですが、時間のケジメをつけ、心にゆとりを与えてくれる。我が祖先の残してくれた素晴らしい人間の知恵の一つがお正月だとおもいます。誰もが晴れやかに、おめでとうのあいさつをかわし、おのずから幸せをみんなにわかち合いたいような、なごやいだ気分になれるのがお正月であり初春の心だからでしょう。

ここにヒューマンな心がよみがえります。

一年の計は元旦にあり、といわれますが、それぞれに計画をたて、今年こそはという決意も大切ですが、公民分館活動の一端を受持つ私としまして、この初春のヒューマンな心境を、長く持続させたいと存じます。

をふりかえって

日本全国をすっぽり強い寒気団で覆って、年が明け一九八四年は、十月に入っても熱帯夜を記録し、梅雨なみの蒸し暑さが続く地球的な異常気象の年だった。そして、高度情報化社会の幕明けの年でもあった。家庭でテレビの受像機を、電話回線で情報センターのコンピュータと結び、利用者の要求に応じて種々の情報を画面に写し出すシステム、家庭に居ながらにして買物や、座席の予約、お金の出し入れが自由に出来るキャブテンシステムが、十一月から始まった。東京と大阪において会議を開く風景もみられる様になった。これからの世界はどのよ



白熱の競技に酔う

去る10月14日(日)に東丘小学校の校庭に於きまして、公民分館主催の第16回地区体育祭を催しました。

当日は絶好の体育日和に恵まれて約3,500名の地区の皆様が参加、白熱する競技の数々に熱狂する場面もみられ、盛況のうちに無事終了致しました。

皆様方には、日頃の運動不足解消またはストレスの解消になったでしょうか？

来年も多数の方々が参加されますように!! (今井)

広がった踊りの輪空前の人出に沸く

ことしも、全国の恐らく数万ヶ所で盛大な盆おどりが催されたことでしょう。

ビルの谷間で、村の鎮守の森で、そして小さな島の磯辺でヤグラが組まれ、大鼓が轟いて踊りの輪が広がったことでしょう。

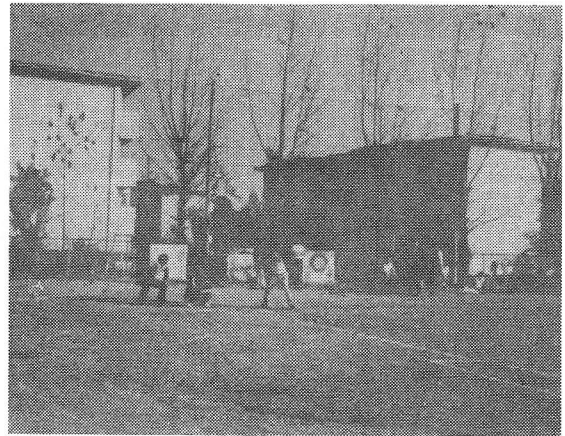
盆おどりは、日本が世界に誇る大きなイベントだといわれています。

私たちの東町でも8月18・19の2日間、幸い好天に恵まれ延べ4,000人を上回る空前の人出に賑わいました。老いも若きも男も女も、苦しかった夏の盛りの日ざしを忘れて、みんなが一緒になって、盆おどりを思いきり楽しみ、踊りの輪を広げました。(延原)

秋空に熱球舞う

自治会相互の交流の場として実施されているこの大会に、今年も150余名の老若男女、スポーツ愛好家が集まりました。お昼頃には、応援にかけつけた婦人や子供達の姿で、より賑わいを増して来ました。又、試合の合間を見ては、体育館で行われている文化祭の会場へも足を運び、秋の1日を楽しみ過ごさせて頂きました。

優勝は東町自治会有志の皆さん、おめでとうございます! (大橋)



「差別戒名と人権」

12月3日、東町会館において、「人権教育講座」が開催されました。映画、「太陽の涙」-石の証言-が上映され、本来、平等であるはずの宗教が、死者にまで差別戒名をつけ、死の世界まで、きびしい差別を持ちこんだ事実を知りました。実際に、各地を訪ねて、墓石や過去帳をフィルムにおさめ、この映画を制作された、木津譲氏の講演を聞き、人権について真剣に考えました。43名参加。(深見)



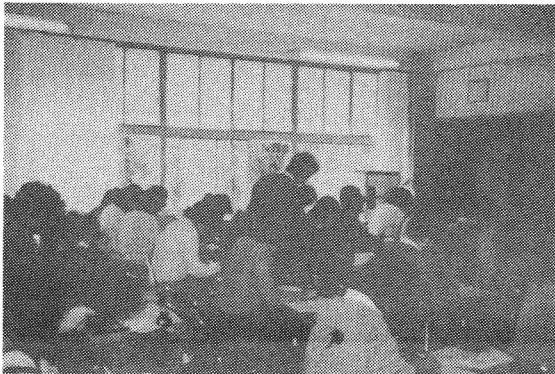
楽しかった秋の講座

公民分館教室に机と椅子を急ぎょ補充して、超満員でスタートした秋の講座「ペン習字」は、受講者50名、9月27日に始まり12月5日に無事終了。

お菓子やお絵書ノート持参の子連れお母さんや、物静かなお父さん2人も参加されました。

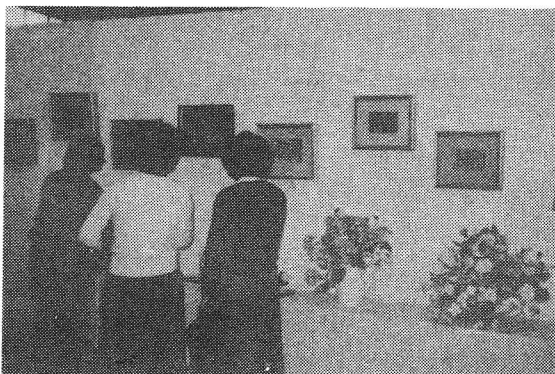
2時間ほとんど無言で一生懸命ペンを走らせてのおけいこで、書いてくださった毎回の感想は、「楽しかった」と言う方ばかりで、とても有意義な講座であったと思えました。

また引続きみなさんで同好会が作られることになりました。(北島)



玄人はだしの作品に感嘆

11月18日(日)文化祭の幕開けは、最高の秋晴れにめぐまれ、展示開始10時前よりたくさんの方々が来場され、3時までの時間が短かく感じられる程盛況に終わりました。手織り、手編み、木彫り、習字、花、ペーパーアート、押絵、等々バラエティーに富んだすばらしい、中味のある作品に目を見張るばかりでした。これからも東町文化の意識を高め、1人1人の温かい協力のもとに、地域発展のために、なお一層のお力添えをいただきますことを切望してやみません。(厩田)



1984年の1年

うに変わるのか全く想像がつかない。それが現実のものとなろうとしている。この東町地区でも、やがて多くの自治会にコンピューターが設置されることだろう。「桜ヶ丘」では、すでに私的にパソコン導入の可否の検討が始まっている。さらに、団地のスラム化が現実の問題として提起された年でもあった。二、三の自治会や管理組合では建替えの研究が行われ、一部では早くも図面づくりが始まったと聞く。このように、この一年はまさに激しく揺り動いた年であった。いま迎えたこの新年は、どのような年になるのだろうか！



社会見学

印象的だった古寺巡礼

長い寒かった冬を、やったくぐり抜けた5月24日、私たち社会見学の一行を乗せたバスは、一路奈良へ向っていた。5月も終りに近いというのに外ははだ寒むかった。

バスが斑鳩の里に入ると、法隆寺の塔が見えがくれて、奈良にきた感じが強い。

泊瀬(初瀬)は、天平の昔から飛鳥の大宮人にこよなく愛されたところであった。室生寺は、女人高野山、で名高い。

古杉が亭々としておしげる静かな長谷寺奥の院の風情と、天高く風雷がうなりをあげる室生寺の原生林の青嵐は、古都奈良の双璧であろう。行き交う観光客は流石に東京や群馬など関東や、遠く北海道からの人が多い。

山深い小徑にひっそりと立っている、室生寺の国宝の五重塔は、日本で最も小さくて美しい小塔。如何にも女人高野らしく女性的なものも印象的であった。(延原)

東町体育祭地区対抗リレー順位

	1 位	2 位	3 位
小学生男子の部	深谷第2	公団 A	メゾン
〃 女子の部	東町 A	東町 B	公団 A
成人男女の部	公団 B		あかしや
	深谷第1		

東町体育祭団地マラソン順位

	1 位	2 位	3 位
Aグループ	谷垣慎太郎 東町	杉本慎太郎 東丘	源田秀敏 公社
Bグループ	田中智也 公団	田中正樹 東町	太田洋平 公団
Cグループ	北地義隆 あかしや	井上一夫 公団	永松ミキ 東町

Aグループ 高校生男子 30代 20代男子
 Bグループ 中学生男子 40代以上男子
 Cグループ 小学生4年-6年男女 女子全員

公民館ソフトボール大会成績表 59. 11. 10.

[八中グラウンド]

		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	勝	敗	分	失点	得点	順位
		公団A	公団B	公社	桜ヶ丘	公団C						
⑥	公団A		× 8-10		× 9-10			2		20	17	7
⑦	公団B	○ 10-8		× 20-6			2			14	30	3
⑧	公社		× 6-20			× 3-15		2		35	8	10
⑨	桜ヶ丘	○ 10-9				× 4-5	1	1		14	14	6
⑩	公団C	○ 5-4		○ 15-3			2			7	20	2

[東丘グラウンド]

		①	②	③	④	⑤	勝	敗	分	失点	得点	順位
		東町B有志	東丘	深谷一	深谷二	深谷三						
①	東町B有志		○ 22-0		○ 19-1		2			1	41	1
②	東丘	× 0-22		× 7-9				2		31	7	9
③	深谷一		○ 9-7			△ 8-8	1		1	15	17	5
④	深谷二	× 1-19				× 4-7		2		26	5	8
⑤	深谷三			△ 8-8	○ 7-4		1		1	12	15	4

編集後記

明けまして、おめでとございます。
 新年といえば新聞、テレビその他マス
 コミをあげて厚化粧をし、お屠蘇気分
 浮かれるのが常だが、国際情勢は決して
 その様なことを許さない雲行きだ。
 そこで、この新年号はことしも、昨年
 と変らぬ平和な一年であります様にとの
 願いをこめて、昨年の一年を振り返る
 ことに致しました。
 写真も出来るだけ入れました。写真を
 みても色々なことを懐かしく想い出され
 方も多いことと存じます。
 新しい年への活力にして頂けたら幸で
 す。

